各地域にはこんな魅力も!

松山、鹿島台、三本木地域には、ほかにも見どころや歴史がいっぱい。ここでは地域ごとにその魅力を紹介。

秋にはコスモス祭りも開催!
御本丸公園(コスモス園)

MAP P25

中世松山の中心的な城である千石城跡、御本丸公園。大崎平野が一望できる高台にあり、コスモスが楽しめる公園として多くの人に親しまれている。秋に開催されるコスモス祭りでは複製された人車に乗る事もできる。

■住所／大崎市松山千石字本丸6
■問合せ先／0229-55-2112(大崎市松山総合支所地域振興課)

松山は、フランク永井のふるさとです。

「有楽町で逢いましょう」や日本レコード大賞に輝いた「君恋し」などで知られる歌手・フランク永井は、実は松山出身。地元に帰ってくると必ず実家に寄り、近所の家にも顔を出す、ふるさと愛にあふれた人物であった。永井の大成功に、当時の町の人々は盛り上がり、今もその輝かしい栄光の数々は『ふるさと歴史館』に大切に保存・展示されている。

平成27年は10月に開催 **フランク永井歌コンテスト毎年開催**

■問合せ先／090-1492-0438(フランク永井歌コンテスト事務局)
※日曜・祝日を除く13:00～17:00

「幻の人車軌道」と呼ばれる
松山地域の近代化産業遺産

大正11年(1922年)、松山町駅と町の中心部を結ぶために登場したのが「人車」。人力でレール上の車体を走らせ、町民の足となっていたが、昭和4年(1929年)バスの導入により、約6年間という短い歴史の幕が閉じた。4両あった車両のうち、復元された1両は『松山ふるさと歴史館』に展示されている。また複製された人車は『松山酒ミュージアム』前でも見ることができる。2009年には、松山人車軌道の復元・複製された両車両が近代化産業遺産として認定された。

鹿島台の自慢!
互市(たがいち)

▲鹿島台互市

明治43年(1910年)、わらじ村長こと鎌田三之助が村民の福利を図ろうと始めた「鹿島台互市」。100年以上続き、春と秋の年2回開催されている市は、今では植木や農産物など250を越える露店が並ぶ東北最大の互市として広く知られている。

[鹿島台互市](春)
■開催日／平成27年4月10日(金)～12日(日)
■時間／9:00～16:00
■会場／鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅～大崎市鹿島台総合支所)
■問合せ先／0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

[鹿島台互市](秋)
■開催日／平成27年11月10日(火)～12日(木)
■時間／9:00～16:00
■会場／鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅～大崎市鹿島台総合支所)
■問合せ先／0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

三本木といえば ひまわり!

MAP P25

■ひまわりの丘(ひまわりのおか)

夏のおでかけにはココもおすすめ!

夏(8月上旬～中旬)には42万本のひまわりが丘一面に咲き誇る。

■道の駅・三本木 やまなみ
(みちのえきさんぼんぎ やまなみ)

ひまわりのお菓子&お土産が勢揃い

MAP P25

生産者の顔が見える新鮮な朝採り野菜や生花、地場産品が所狭しと並ぶ。なかでも地元三本木の特産品・ひまわりを使った「ひまわりワッフル」(123円)が一番人気。軽食コーナーで販売している「ひまわりソフト」(300円)もオススメ。

■住所／大崎市三本木字大豆坂63-13
(亜炭記念館は大崎市三本木字大豆坂63-24)
■電話／0229-53-1333(亜炭記念館は0229-52-6232)
■営業時間／物産館9:00～18:00、亜炭記念館9:00～17:00
■休／無休　■記念館入館料／無料
■HP／http://www.sanbongi.jp

隣には三本木亜炭の最盛期を今に伝える『三本木亜炭記念館』も!

炭鉱の歴史を忘れないための資料館。日本一大きい亜炭柱が置かれている。亜炭運搬用に使われたオート三輪は、子供にも大人気。

■湯立神事(ゆだてしんじ)

荒業で有名な
三本木の奇祭

源頼朝が奥州平泉の藤原氏を平定して凱旋する途中に建立したと伝えられる若宮八幡神社。そこで毎年旧暦9月18日の秋の宵祭に行われるのが「湯立神事」。氏子の安泰を祈願し奉納する神事は、祈祷祝詞を唱えながら熱湯を笹の葉で自分の体にかけ除災する荒業で有名。

■開催日／10月30日(金)　■時間／18:00～
■会場／大崎市三本木新沼字若宮113(若宮八幡神社)
■問合せ先／0229-52-3440(若宮八幡神社)